

芸術支援研究会

文化政策と 文化多様性

太下義之

文化政策研究者

独立行政法人国立美術館理事

文化芸術基本法に基づく「文化芸術推進基本計画」にて、文化芸術は「多様な価値観を尊重し、他者との相互理解が進むという社会包摂の機能を有している」とされ、「多様な価値観の形成と包摂的環境の推進による社会的価値の醸成」が掲げられている。こうした背景を踏まえ、「社会包摂」の基盤となる「文化多様性」という概念がなぜ誕生したのか、それは具体的にどのような取り組みとなるのかについて概説する。

Art Environment Support Forum Cultural Policy and Cultural Diversity

Yoshiyuki Oshita

Researcher on Cultural Policy

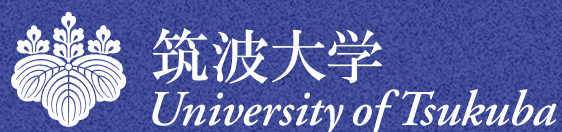
Executive Director, Independent Administrative Institution National Museum of Art

2019年4月20日 15:00-16:30 聴講自由
筑波大学芸術学系棟 B203

つくばエクスプレスつくば駅から筑波大学循環バス（右回り）または筑波大学中央行きバスで「筑波大学西」下車。

Saturday, April 20, 2019 15:00-16:30 Admission Free
B203, Faculty of Art and Design, University of Tsukuba, Japan

Contact: 筑波大学芸術系 直江俊雄 Toshio Naoe, Faculty of Art and Design, University of Tsukuba
Tel / Fax 029-853-2821 naoe@geijutsu.tsukuba.ac.jp



Online
Registration
参加申し込み

